



# 修二だより

令和6年度  
後期学校評価号

令和7年2月

京都市立修学院第二小学校

校長 中村 理恵

## 後期 学校評価アンケートの集計結果をお知らせします

「後期学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。学校評価は、学校家庭が相互に高め合うことを目的とし、よりよい学校づくりのため行っています。「児童へのアンケート」と「保護者へのアンケート」の結果をまとめて報告いたします。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

### 学校教育目標

『自ら考え行動し、仲間とともに伸びる



たくましい 修二の子ども』

☐ 自主自律

☐ 友情をはぐくみ

☐ 美しい心で

☐ 虹をかけよう



◆児童アンケート◆		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わな い
【言語力・対話力】					
1	じゅぎょうの ないようが わかる。	48%	43%	7%	2%
2	じぶんの かんがえをもち、あいてに つたえようと している。	36%	49%	12%	3%
3	せんせいや ともだちの はなしを よくきいている。	49%	42%	7%	2%
4	すすんで どくしょを している。	39%	30%	23%	8%
【情報活用力】					
5	じょうほうを あつめて くらべたり、かんれんづけたりして、かんがえている。	25%	48%	20%	7%
6	じょうほうを あつめるために としょや パソコンなどを かつようしている。	43%	39%	13%	5%
【相手意識】					
7	せんせいや ともだちの はなしを うなずくなどして きいている。	44%	35%	16%	6%
8	あいての きもちや かんがえを そうぞうしながら、せんせいや ともだちと はなしている。	41%	45%	11%	4%
9	ともだちと なかよくすごそうと ころがけている。	73%	22%	4%	1%
【自己調整力】					
10	じぶんの めあてを きめて、つづけて とりくんでいる。	38%	46%	12%	4%
11	じぶんの きもちを コントロールしながら すごしている。	46%	44%	8%	2%
【その他健康や安全、家での生活に関すること】					
12	クラスの しごとを じぶんから すすんで している。	36%	43%	17%	4%
13	かていがくしゅうを すすんで やっている。	40%	41%	15%	4%
14	きまりや やくそくを まもっている。	46%	43%	10%	1%
15	はやね・はやおきをして すいみんをしっかりとっている。	37%	36%	16%	11%
16	まいにち あさごはんを たべている。	87%	8%	4%	1%
17	そとあそびなどをして からだを よくうごかしている。	60%	24%	10%	6%
18	じぶんや まわりのひとの あんぜんを かんがえて、こうどうしている。	47%	46%	5%	2%
19	こうつうルールを まもって とうげこうしている。	62%	34%	2%	2%
20	いえのひとと がっこうでの できごとを はなしている。	50%	32%	11%	7%
21	こまったときは せんせいや いえのひとに そうだんをしている。	47%	31%	14%	7%

◆保護者アンケート◆					
		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
	【言語力・対話力】				
1	授業の内容が分かる。	33%	56%	10%	1%
2	自分の考えをもち、相手に伝えようとしている。	25%	56%	17%	2%
3	先生や友だちの話をよく聞いている。	34%	54%	11%	1%
4	進んで読書している。	24%	34%	32%	10%
	【情報活用力】				
5	情報を集めて比べたり、関連付けたりして、考えている。	16%	48%	34%	3%
6	情報を集めるために、図書やパソコンなどを活用している。	19%	42%	29%	10%
	【相手意識】				
7	先生や友だちの話をうなずくなどして聞いている。	26%	51%	20%	3%
8	相手の気持ちや考えを想像しながら、先生や友だちと話している。	27%	57%	15%	1%
9	友だちと仲良く過ごそうと心がけている。	48%	48%	4%	0%
	【自己調整力】				
10	自分のめあてを決めて、続けて取り組んでいる。	21%	52%	24%	3%
11	自分の気持ちをコントロールしながら過ごしている。	28%	56%	13%	3%
	【その他健康や安全、家での生活に関すること】				
12	クラスの仕事を、自分から進んでしている。	31%	57%	12%	0%
13	家庭学習を進んでやっている。	28%	44%	25%	3%
14	決まりや約束を守っている。	36%	54%	9%	1%
15	早寝早起きをして睡眠をしっかりとっている。	27%	44%	24%	6%
16	毎日朝ごはんを食べている。	80%	17%	2%	1%
17	外遊びなどをして、体をよく動かしている。	40%	37%	22%	1%
18	自分やまわりの人の安全を考えて、行動している。	38%	56%	6%	0%
19	交通ルールを守って、登下校している。	54%	44%	2%	0%
20	子どもと学校でのできごとを話している。	42%	45%	12%	1%
21	子どもが困っているときは、一緒に話し合っている。	43%	54%	2%	1%
22	学校だより・学年だより・ホームページなどから学校の様子がよくわかる。	29%	60%	10%	1%
23	学校が、いじめ問題等を含み、人権を大切にした教育活動に取り組んでいる。	31%	61%	6%	2%



# アンケートについての考察



## 児童のアンケートより

- ・「自分の考えをもち、相手に伝えようとしている。」【言語力・対話力】の項目では、85%の子どもが「そう思う」、「だいたいそう思う」と答えており、肯定的な回答が前回よりも5ポイント上がりました。自分の考えや思いを相手に伝えたいと思う姿勢は、人とともに学び、思考を広げるために大切なことです。今後も、子どもが「伝えたい」と思えるような授業作りをしていきたいと思えます。
- ・「相手の気持ちや考えを想像しながら、先生や友達と話している。」【相手意識】の項目では、肯定的な回答が86%で、前期よりも+4ポイント（保護者アンケートにおいても+6ポイント）と、高い結果となりました。集会等で、学校長が「相手意識」について意識して取り入れながらさまざまな話をしていることや、それを受けて多くの子どもたちが「相手」の表情や様子を意識しながら人と接していこうとしていることも、この結果につながっているものと思われます。
- ・「自分のめあてを決めて、続けて取り組んでいる。」、「自分の気持ちをコントロールしながら過ごしている。」など【自己調整力】の両項目では、どちらも前期よりも、それぞれ4ポイント、3ポイント上昇しました。（保護者アンケートでも、それぞれ6ポイント、5ポイント上昇しました。）日々さまざまなことがある中で、自分の心に折合いをつけながら学習や活動に取り組むことができていく児童が増えたように思います。自分の心を自分で律してめあてに向かうこと、心をコントロールして過ごすことは、ともにこれからの子どもの大きな成長につながります。
- ・一方「進んで読書をしている。」【言語力・対話力】には課題が見られます。肯定的な回答が69%で、前期よりも4ポイント下がりました。読書は、心を耕すだけでなく、読解力を向上させることにもつながります。子どもたちが「読書」が楽しいと思えるような取組を学校のカリキュラムに取り入れる必要があると考えます。PTAが中心となって活動している「トムソーヤ」との連携や新たな読書に関わる取組を考えていきたいと思えます。
- ・「情報を集めて比べたり、関連付けたりして考えている。」【情報活用力】の項目でも、肯定的な回答が73%で、6ポイント下がっています。学習問題を解決するために情報を集める場面や、集めた情報同士を比較して思考したり関連付けたりする場面において、タブレットだけではなくさまざまなメディアを活用し、それらの中から子どもの「知りたい」「解決したい」「（言葉や図で）表現したい」という思いを実現するような情報活用力をつけたいと思えます。

## 保護者のアンケートより

- ・「自分やまわりの人の安全を考えて、行動している。」の項目では、肯定的な回答が94%であり、8ポイント上昇（児童も3ポイント上昇）しました。まわりに気を配りつつ安全に行動しようとする児童が増え、嬉しく思います。引き続き、家庭と学校が連携し、子どもたちの安全な行動をともにできるよう見守っていかれたらと思います。
- ・「家庭学習を進んでやっている。」の項目では、肯定的な回答が72%となり、5ポイント上昇しました。各学年で、担任も工夫して家庭学習を促すようにしています。また、ご家庭で積極的にお声掛けをいただいている結果でもあると考えます。ありがとうございます。
- ・「早寝早起きをして睡眠をしっかりとしている。」の項目では、肯定的な回答が71%（児童は73%）でした。およそ3割弱の児童が、睡眠が足りていないと感じられているようです。十分な睡眠は、体の調子を整え、日々のさまざまな活動の土台となります。低学年は9時、中学年は9時半、高学年は10時には就寝するよう、保健だより等でお知らせしているところではございますが、改めてご家庭でもご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 地域の方より（学校運営協議会でご意見を伺いました。）

- ・地域での活動において、子どもたち同士でトラブルになっても、エスカレートすることなく解決できるようになってきたように思う。相手意識や自己調整力がついてきた表れと考えられるのではないかな。
- ・子どもを変える（成長させる）には、大人や地域の考えも変えていかなくてはならない。現代社会にあった地域・家庭・学校の在り方をそれぞれの立場から共に考え、失敗を恐れず何事もチャレンジしていく心構えで取り組んでいきたい。
- ・地域・家庭・学校とそれぞれの立場が会する学校運営協議会で、学校アンケートだけでなく、さまざまな情報をもとに児童の実態を共有し、その中での課題解決に共に努めていきたい。

今回のアンケートの結果から、「相手の気持ちや考えを想像しながら、先生や友達と話している。」など、満足度が高い項目もあれば、「進んで読書をしている。」など、課題が残る項目もありました。アンケート結果を真摯に受け止め、学校として組織的な授業や取組の改善につなげたいと思えます。

今回いただいたご意見は、全教職員で共有し、継続するところは引き継ぎ、改善すべきところは速やかに改善するなどして、よりよい修学院第二教育を進めていきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。